
ServerView Resource Orchestrator V3.0
ネットワーク構成情報ファイル作成ツール

mknetdevconf-tool-0300-1

本ファイルでは、ServerView Resource Orchestrator V3.0 で使用する「ネットワーク構成情報ファイル作成ツール」の動作条件、使用方法、およびその他の重要な情報について説明しています。本ツールを使用する前に必ず最後まで目を通すようお願いいたします。

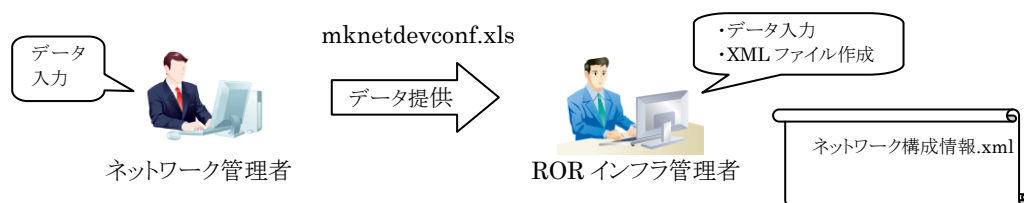
目次

- 1.本ツールの概要
- 2.動作条件
- 3.ボタンシート説明
- 4.操作手順
- 5.メッセージ一覧

1.本ツールの概要

本ツールは、ネットワーク管理者が入力したネットワーク構成情報（管理情報および物理結線情報）を基に、ROR インフラ管理者がネットワーク機器情報の XML ファイル作成を支援するツールです。

以下に本ツールの使用イメージを示します。



2.動作条件

本ツールは Microsoft Excel 上で動作するツールです。以下のバージョンの Excel が必要です。

- Excel 2003
- Excel 2007
- Excel 2010

動作 OS は以下の製品バージョンになります。

- Windows XP

- ・ Windows Vista
- ・ Windows 7

本ツールでは入力を支援するマクロが含まれています。Excel でマクロを有効にするために、以下の手順で Excel のセキュリティ設定を変更してください。

・Excel 2003 を利用する場合

Excel 2003 では、以下の操作でセキュリティレベルを変更できます。

- 1) Excel のメニューから[ツール(T)]-[オプション(O)]を選択します。
[オプション]ダイアログが表示されます。
- 2) [セキュリティ]タブを選択し、<マクロセキュリティ(S)>ボタンをクリックします。
[セキュリティ]ダイアログが表示されます。
- 3) セキュリティレベルを"高"以下に変更し、<OK>ボタンをクリックします。
- 4) ツール(mknetdevconf.xlt)を開き、その際に表示される[セキュリティの警告]ダイアログで
作成者などの詳細を確認したあと、"この作成者のマクロを常に信頼する(A)"のチェックボックスをチェック
して、<マクロを有効にする(E)>ボタンをクリックします。

・Excel 2007 を利用する場合

あらかじめ以下の手順でセキュリティセンターのマクロを設定しておいてください。

- 1) Microsoft Office ボタンをクリックし、[Excel のオプション]を選択します。
- 2) 表示されたダイアログで[セキュリティセンター]-[セキュリティセンターの設定]-[マクロの設定]を選択します。
- 3) "マクロの設定"に表示されるマクロのセキュリティ設定の中から、"デジタル署名されたマクロを除き、
すべてのマクロを無効にする(G)"を選択し、<OK>ボタンをクリックします。
- 4) ツール(mknetdevconf.xlt)を開き、ツールバーの下に表示される"セキュリティの警告"の
<オプション>ボタンをクリックします。
- 5) 署名を確認し、"この発行者のドキュメントをすべて信頼する"のチェックボックスをチェックし、<OK>ボタン
をクリックします。

・Excel 2010 を利用する場合

あらかじめ以下の手順でセキュリティセンターのマクロを設定しておいてください。

- 1) [File]タブをクリックし、[ヘルプ]の[オプション]を選択します。
- 2) 表示されたダイアログで[セキュリティセンター]-[セキュリティセンターの設定]-[マクロの設定]を選択します。
- 3) "マクロの設定"に表示されるマクロのセキュリティ設定の中から、"デジタル署名されたマクロを除き、
すべてのマクロを無効にする(G)"を選択し、<OK>ボタンをクリックします。
- 4) ツール(mknetdevconf.xlt)を開き、ツールバーの下に表示される"セキュリティの警告"の
<マクロが無効にされました>ボタンをクリックします。
- 5) 表示されたダイアログで[コンテンツの有効化]-[詳細オプション]を選択します。署名を確認し、"この発行者
のドキュメントをすべて信頼する"のチェックボックスをチェックし、<OK>ボタンをクリックします。

3. ボタン/シート説明

3-1 ネットワーク機器管理表シートへの入力

ROR インフラ管理者が登録するネットワーク機器の管理情報を入力してください。
各項目についての入力可能な値については、セルのコメント欄を参照してください。

[入力可能項目]

- 選択
- レコード種別
- 管理 IP アドレス
- 機器名(名称)
- ロケーション
- 種別情報
- 保守モード

- ネットワークデバイスの自動設定
- グループ ID
- コミュニティ名
- 認証情報の管理方法
- 管理者権限
- アカウント確認
- 接続先 IP アドレス
- 接続先ポート番号
- テナント名
- アカウント
- パスワード
- 管理者パスワード
- パスワードの暗号化
- 監視方法
- 監視間隔
- リトライ回数
- タイムアウト
- Web 管理画面 URL

注意: ネットワーク機器管理表シートに対する列の追加/削除は行わないでください。

[ボタン説明]

- ・レコード追加ボタン: レコード行の追加を行います。追加したい行のセルを選択し押下してください。
- ・レコード削除ボタン: レコード行の削除を行います。削除したい行のセルを選択し押下してください。
- ・パラメタチェックボタン: シートに入力された値のチェックを行います。
- ・リンク表作成ボタン: リンク情報を自動生成し、結線情報シートに出力します。
- ・XML ファイル出力ボタン: XML ファイルを出力します。
また、出力対象のレコードはネットワーク機器管理表シートのチェック欄が
"*"のレコードのみ対象となります。
XML 出力モードはコンボボックスの指定値に従います。

[コンボボックス説明]

- ・XML ファイル出力のモード選択をしてください。個別作成/個別変更/一括作成/一括変更が選択できます。

3-2 ケーブル結線表シートへの入力

ネットワーク管理者は、ケーブル結線表シートへネットワーク構成情報（物理結線情報）を入力してください。

[入力可能項目]

- 接続元機器のラック名(No.)
- 接続元機器の機種
- 接続元機器の機器名(名称)
- 接続元機器のポート
- 接続先機器のラック名(No.)
- 接続先機器の機器名
- 接続先機器の機種
- 接続先機器のポート
- ケーブル種別

注意: ケーブル結線表シートに対する列の追加/削除は行わないでください。

ケーブル結線表シートに行を追加/削除する場合は、Excel の行の挿入/削除の操作でできます。

3-3 結線情報シートへの入力

[リンク表作成ボタン]によって自動生成されるシートです。機器同士のリンク情報が出力されます。

3-4 Cisco Catalyst の IfName シート以降のシート

装置ビューと ifName の関係を示しています。ケーブル結線表シートのポート情報を入力する際の参考にしてください。

4.操作手順

4-1 ネットワーク管理者による"ケーブル結線表"シートへの情報入力

各項目の入力作業を行います。
結線の情報は、接続元と接続先で両方向を入力してください。

4-2 ROR インフラ管理者による"ネットワーク機器管理表"シートへの情報入力

各項目の入力作業を行います。
機器名(名称)は、"ケーブル結線表"シートで入力した機器名(名称)と同じ名前を入力してください。
入力完了後、一括作成/一括変更の場合は 4-3 へ、個別作成/個別変更の場合は 4-4 の作業を実施します。

4-3 ROR インフラ管理者による"結線情報"シートの出力作業

"ネットワーク機器管理表"シートの[リンク表作成ボタン]を押下し、"結線情報"シートを自動生成します。

4-4 ROR インフラ管理者による XML 出力作業

"ネットワーク機器管理表"シートの[XML ファイル出力ボタン]を押下し、xml ファイルを出力します。

4-5 ROR インフラ管理者によるネットワークデバイス操作

作成された XML ファイルを利用して、ネットワークデバイスを操作します。
・個別作成/個別変更の場合、rcxadm netdevice コマンドを使用します。
・一括作成/一括変更の場合、rcxadm netconfig コマンドを使用します。

5.メッセージ一覧

本ツールが画面出力するメッセージの説明をします。

- ・ XML ファイルを出力しました。
利用者対処: なし。
- ・パラメタチェックが正常に終了しました。
利用者対処: なし。
- ・リンク情報の自動生成が終了しました。
利用者対処: なし
- ・同一ファイル名が存在します。継続しますか?

利用者対処: 「はい」または「いいえ」ボタンを押してください。

- ファイル出力がキャンセルされました。

利用者対処: なし

- ノード選択は1つだけです。

利用者対処: 1つのデバイスだけ選択してください。

- シートに入力したパラメタに誤りがあります。誤りがあるセルを赤色で示します。

利用者対処: 赤くなったセル部分に正しいパラメタを入力してください。

- リンク情報の生成に失敗しました。理由: 入力されたデバイス名がケーブル結線表シートに存在しない。

利用者対処: "ケーブル結線表"シートに、"ネットワーク機器管理表"シートに入力しているデバイスの物理結線情報を追加してください。なお、結線情報は、接続元と接続先で両方向を入力する必要があります。

"ネットワーク機器管理表"シートに入力しているデバイス情報が不要の場合、選択対象外(-)としてください。または、デバイス情報を削除してください。

- リンク情報の生成に失敗しました。理由: リンク相手のデバイス情報がチェック(*)されていない。

または、リンク相手のデバイス情報がネットワーク機器管理表シートに存在しない。

利用者対処: "ケーブル結線表"シートで入力したデバイス(機器名)は、"ネットワーク機器管理表"シートにデバイス情報として入力する必要があります。

"ネットワーク機器管理表"シートでチェック(*)を選択してください。または、"ネットワーク機器管理表"シートに情報が無い場合はリンク相手のデバイス情報を追加してください。

"ケーブル結線表"シートで入力したデバイスの物理結線情報が不要の場合、削除してください。